

広報やまがた

2003

創刊号

第1号



5月

くらしの カレンダー

Life-Calendar

山県市の人口

31,694人

男 15,572人

女 16,122人

世帯数 9,770戸

(平成15年4月1日現在
住民基本台帳より)

1日(木)	カン・白色トレイ収集(大桑) 不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(葛原・谷合)	16日(金)	マタニティクラス(保健福祉ふれあいセンター10:00~13:30)、はみがきけんしん(保健福祉ふれあいセンター 13:30~14:30) カン・白色トレイ収集(西深瀬)
2日(金)	カン・白色トレイ収集(桜尾)	17日(土)	びん・ペットボトル収集(東深瀬・高木東・阿原・桜尾・大桑)
3日(土)	びん・ペットボトル収集(北山・葛原・谷合)	18日(日)	
4日(日)		19日(月)	はみがきけんしん(美山構造改善センター 13:30~14:30) 不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(西深瀬・高木〔高木東・阿原を除く〕)、カン・白色トレイ収集(北町・栄町・仲町・本町1、2、3丁目・共和町)
5日(月)		20日(火)	ポリオ生ワクチン(美山構造改善センター 受付 13:15~14:00) 不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(西深瀬・高木〔高木東・阿原を除く〕)、びん・ペットボトル収集(伊自良全域)
6日(火)	カン・白色トレイ収集(洞田・小倉・大森・藤倉・大門)、不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(北山・北武芸)	21日(水)	乳幼児健診(伊自良老人福祉センター、1歳6か月児健診 受付 13:15~13:30、10~11か月児健診、3・4か月児健診 受付 13:45~14:00) 不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(北町・栄町・仲町・本町1、2、3丁目)、カン・白色トレイ収集(佐賀・見晴台・金池・高木〔高木東・阿原を除く〕)
7日(水)	乳幼児健診(美山構造改善センター、1歳6か月児健診 受付 13:15~13:30、3歳児健診 受付 14:00~14:30) カン・白色トレイ収集(長滝・平井・掛・松尾・上順)、不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(乾・富波)	22日(木)	心の相談(13:30~15:00 保健福祉ふれあいセンター) 不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(共和町・佐賀・見晴台・金池)、カン・白色トレイ収集(北山・葛原)
8日(木)	ポリオ生ワクチン(保健福祉ふれあいセンター 受付 13:15~14:00) 不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(岩佐・中洞)、びん・ペットボトル収集(富波・岩佐)	23日(金)	カン・白色トレイ収集(乾・中洞)
9日(金)	カン・白色トレイ収集(森・南・旭ヶ丘・蜷ヶ丘・田倉)	24日(土)	カン・白色トレイ収集(谷合・北武芸)
10日(土)	びん・ペットボトル収集(西深瀬・高木〔高木東・阿原を除く〕・梅原)	25日(日)	
11日(日)		26日(月)	カン・白色トレイ収集(梅原)、不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(森・南・旭ヶ丘・蜷ヶ丘・田倉)
12日(月)	不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(伊佐美・椎倉・赤尾)、カン・白色トレイ収集(大北・石田町・山本・双葉台・京ヶ洞・星ヶ丘・南屋敷・石畑・美里)	27日(火)	不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(大北・石田町・山本・双葉台・京ヶ洞・星ヶ丘・南屋敷・石畑・美里)、びん・ペットボトル収集(北町・栄町・仲町・本町1、2、3丁目・共和町・佐賀・見晴台・金池)
13日(火)	不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(大桑)、びん・ペットボトル収集(北武芸・乾・中洞)	28日(水)	乳幼児健診(美山構造改善センター、10~11か月児健診 受付 13:15~13:30、3・4か月児健診 受付 14:00~14:30) 不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(梅原)、カン・白色トレイ収集(富波・岩佐)
14日(水)	乳幼児相談(健康福祉ふれあいセンター 10:00~11:00) カン・白色トレイ・不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(東深瀬・高木東・阿原)	29日(木)	ポリオ生ワクチン(保健福祉ふれあいセンター 受付 13:15~14:00) 不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(伊自良全域)
15日(木)	ポリオ生ワクチン(伊自良老人福祉センター 受付 13:15~14:00) 不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(東深瀬・高木東・阿原)、びん・ペットボトル収集(森・南・旭ヶ丘・蜷ヶ丘・田倉・大北・石田町・山本・双葉台・京ヶ洞・星ヶ丘・南屋敷・石畑・美里)	30日(金)	不燃ゴミ・粗大ゴミ収集(伊自良全域)
		31日(土)	



山県市誕生

夢と希望に向けた旅立ち



YAMAGATA-CITY

夢と希望に向かって 走りだした **山県市**

平成十五年四月一日、高富町・伊自良村・美山町が合併し「山県市」が誕生しました。

平成の大合併では、岐阜県内はもとより東海地区初となりました。歴史的な一日となったこの日、市役所の様子はこんな感じでした。



① 辞令交付



② 開庁式（訓示）



③ 開庁式（銘板除幕）



4月1日ドキュメント

7:30 辞令交付 写真①

村橋忠夫市長職務執行者から課長級以上の職員

8:00 市役所開庁式 写真②・③

市役所の玄関東で行いました。市長職務執行者は、本庁職員約250人に「市民の皆さんに合併してよかったと言ってもらえるように意識と気概をもって職務に奮起してほしい」と訓示しました。

また、「山県市役所」の銘板を市長職務執行者らが除幕しました。

8:30 業務開始

1年中で最も窓口が混雑するとき。市役所1階は市民やマスコミでいっぱい。

10:00 各種役員に辞令交付 写真④

市長職務執行者が消防団長や産業医に辞令を交付。

10:30 記者会見 写真⑤

市長職務執行者、酒向隆参与

13:15 市開庁式典 写真⑥・⑦

市役所玄関前でテープカット、くす玉割を行い、高富青雲組の太鼓演奏が式典を盛り上げました。

この式典には、梶原拓岐阜県知事も出席され祝辞を述べられました。

14:10 新市のまちづくりを語る会

県知事、山田忠雄県会議員、前高富・前美山町長、市長職務執行者、若手の市民4人が意見交換を行いました。

くわしくは次のページで。



④ 消防団長に辞令交付



⑤ 記者会見



⑥ 開庁式典



⑦ ちびっこも記念撮影パチリ



して、これからの新しい市のまちづくりをいかに考えていくかについてこの語る会を開催させていただきました。知事さんにはご多忙の中このような会に参加いただきありがとうございます。また、市民を代表していただいた皆さん、出席い

司会 それでは新市のまちづくり計画について、山県市の酒向参与からご説明いたします。

ある都市が調和した「安らかで快適な21世紀の住みよいまちづくり」——ということで基本理念を立てさせていただきました。



村橋市長職務執行者

新市の まちづくりを 語る会

四月一日、山県市役所公室で、四名の市民の方と梶原岐阜県知事らが山県市のまちづくりについてそれぞれの思いや考えを語り合いました。

かで美しい自然を守るまちづくり、活力あふれる産業のまちづくり、豊かな心と文化を育むまちづくりということで、五本の柱を立てました。

司会 それでは本日ご出席の市民の方々に自己紹介を兼ねて、今取り組んでいらっしゃるお仕事ですとか、今お住まいの地域のことについて簡単にお話いただきました。

司会 それではただいまより、新市のまちづくりを語る会を開催させていただきます。はじめに村橋市長職務執行者からごあいさつ申し上げます。

村橋 皆さんごろうさまです。ただいまは開庁式を開催しまして、梶原知事をはじめみなさん方にご祝辞を賜りありがとうございました。この山県市誕生にあたりま

ただきありがとうございます。新市のまちづくりにつきましては合併協議会の中で住民の方の声をもとにして新市のまちづくり計画というものを作成しまして、これからこれを実行していくわけですが、本日は比較的若い世代の皆さん方から生の声をお聞かせいただいて、これをふまえて皆さん方と一緒に山県市のこれか

酒向 山県市参与の酒向です、よろしく願います。お手元にお配りした資料「新市まちづくり計画」のダイジェスト版「安らかで快適な21世紀の住みよいまちづくり」をご覧ください。平成十三年の十月に住民のアンケートを実施しまして、皆さんのご希望を調査しました。その結果、——豊かな自然と活力

うのが副題でありまして、安らかなというのは、福祉・健康。快適なというのは都市整備・道路整備。21世紀になって新しくできるまちでござりますので、新しい意識を持ってまちづくりをしたいという思いが込められています。また、基本方針としまして、健やかで安らかなまちづくり、便利で快適なまちづくり、豊

藤岡 はじめまして、旧高富町の藤岡功といいます。仕事の方は父親の家業を継いで旧高富町の方で営んでいます。仕事柄いろんなところ

新市のまちづくりを語る会 出席者

(敬称略)

山県市民

有限会社藤岡木工所社長
大桑保育園保護者会会長
日本料理川島 若女将
美山町森林組合 技師

藤岡 功
土田 美恵子
川島 亜也
田中 政成

岐阜県知事

岐阜県議会議員

梶原 拓雄
山田 忠雄

山県市市長職務執行者

前高富町長
前美山町長

村橋 忠夫
平野 元男
矢口 貢

司会・進行

山県市参与
山県市有線テレビ室

酒向 隆子
小南 智子

(※役職は4月1日、当時のもの)



藤田 功 さん

へ行かせてもらうんです、名古屋とか根尾村とか。やはりそういう所と比べた場合旧高富町、美山町、伊自良村、一番感じるのとはとにかく元気がないなということです。特に若者、僕たちもそうなんですけど、とにかく関心がないから元気がないというのが最近非常に感じる事です。しかし、悪いことばかりじゃなくて、私、子供が小学校の方で世話になっていまして、学校の教育が子供一人ひとりに目を向けた教育、数字を

詰め込むのではなく、自然と一緒に子供たちの成長を見守るという教育をしていただいております。本当にうれしいなと思います。もっとももっとそういう教育を伸ばしていってもらいたいと思います。

司会 ありがとうございます。次に土田さんお願いいたします。

土田 私、今年度大桑保育園保護者会長を務めさせていただきました。土田と申します。仕事は高等学校で家庭科を教えています。私が今住んでいる大桑は、田や畑、山に囲まれた地域ですが、過疎化、少子高齢化が深刻な問題となっています。若者は就職のために地元を離れ都会で生活の拠点を築いております。子供の数は減り、私の子供の同級生も減ってきております。

子供が少ないため、まさに活気が無くなってきていると思います。ぜひ、若者が地元に残り、子供の数が増え、活気あふれるまちにしたいだきたいと思っております。

司会 ありがとうございます。次に川島さんお願いいたします。

川島 よろしく申し上げます。

伊自良で料理店の若女将をしております川島です。私も伊自良に住みだして十年くらいですけど、伊自良はとても自然がいっぱいで、図書館、美術館、公園がありまして、子供が楽しく遊べる環境がそろって、のどかで過ごしやすいです。でもやはり子供の人数が少なく、小学校も一クラスずつしか無くて、子供たちにはチョットかわいそうかなとは思っています。子供たちが今住んでいる場所を誇りを持って、山県市

になって良かったと思えるように、これからなっていくてもらいたいと思います。司会 ありがとうございます。次に田中さんお願いいたします。

田中 旧美山町に住んでいます。田中といいます。仕事のほうは美山町森林組合で働かせてもらっています。森林組合という職業ですので、美山や伊自良の山林のほうを歩いたりするんですけど、最近どこの山林を歩いている、人が手入れしていない状態がよく見受けられます。台風などの被害を受けていても所有者の方が手当てをしないから山林が崩壊



土田 美恵子 さん



川島 亜也 さん

態が続いてお
りますので、
何かいい案が
あったらアド
バイスいただ
きたいと思い
ますのでよろ
しく願いま
す。

司会

ありがとうございます
ございました
た。それでは
本日誕生い
たしました山

している、そういう状態を
すくく目しているんです。
今は、住民の方々と何か協
力して、森林組合として何
かできないかと考えている
ところです。それと美山Y
ACCという旧美山町の青
年団体グループの、今年度
から代表をやらしていただ
くことになったんですけど、
青年団活動の中で参加して
いただける若者がすくく少
なくなってきました。何か
企画してそれを実行する
にしても、スタッフが足り
ない。そういったところで
いろいろなところに協力を
要請しなくちゃならない状

藤岡

県市のまちづくりについて
市民の方々のご意見をお伺
いしたいと思います。どの
ようなご意見でも結構で
す。藤岡さんお願いしま
す。

本日こういう席に参加さ
せていただくということで
私、いろんな人に山県市に
ついて聞いてみました。そ
の時に若者っていうか、三
十代、四十代の人たちはほ
んどが無関心。五十代、
六十代の人たちは、いろん
な思いはあるんだけど、最
後にはあきらめが聞かれる。
そういうのを考えるときに
やはりこれからの山県市が

まちづくりを考えるために
は、住民参加型のまちづく
りをしなくちゃいけないん
だ、住民を巻き込んで、一
緒にまちをつくらなくちゃ
いけないんだと感じました。
行政も市民もみんなの意識
改革をしなくちゃいけない
あと強く感じました。現在
の山県市の人口を増やし
て、その分税収も増やし
て、独立したまちをつくら
なくちゃいけない。これは
僕の個人的な意見なんです
けど、今の山県市というの
は自然が非常に豊富です。
土地も広くあります、値段
も安いと思います。『住む』
というところに目をつけて
そこにワンオンリーなまち
づくりを目指すのも一つの
手かなと思います。それを
行う中で、交通、教育、医
療を充実して市外の他の人
たちが「山県市に住みたい
よね。」と言われるようなま
ちにして行かなくちゃいけ
ないと思います。もう一つ、
山県市内の中で雇用確保と
いうものを目指さなければ
いけないと思います。例え
ば美山町の工業の中で水栓

では、全国の三割を占めて
いるということをお聞きし
ています。そういうところ
にもっと力を入れて企業誘
致をするとか、広い土地が
ある伊自良とかに企業を呼
ぶとかということをみんな
で考えていきたいと思いま
す。市民も意識改革をし
て、俺たちのまちなんだか
ら俺たちでつくろうよと。
僕たち若い年代がもっと元
気を出してやっていくこと
が一番のまちづくりに近づ
くんじゃないかなと思いま
す。

司会

ありがとうございます。
次に土田さんお願いします。

土田

若者が仕事を離れずに、
ここなら一生暮らしてもい
いと思える住みやすいまち
魅力あるまちをつくってほ
しいと思います。子供たち
が山県市で働きたいと思っ
ような地元産業の発展、誇
りを持って働きたい、そうい
うところをどんどんつくっ
てほしいと思います。ぜひ市
全体で子供の成長を支えて
いって欲しいなと思います。
もう一つに交通網の整備と
公共交通機関の拡充です。

司会

それでは川島さん願いま
します。

川島

私も山県市になってどう
なってもいいかについて
考えたんですけど、自分一
人では何も分からなかった
ので、同じ世代の子供を持
つお母さん方に意見を聞い
ていたんですけど、やはり全
面的にすべてが高くなるイ
メージをみなさん持つてみ
えるみたいです。それと私と
しては、もう少し公園など
があつて、子供たちが遊べる
場所があつたらなあと思い
ます。公園へ行くまでの道
が危ないので、親が安心して
子供を公園へ行かせられる
ようなにしてもいいと思い
ます。子供が小学校へ行っ
てますけど、人数が少ない
ので、岐阜市の小学校とか



田中 政成 さん

と授業の交流を持って、人数の多いところでいろいろと学んで欲しいと思います。私も岐阜市内の小学校に通っていて、人数の多いところにいたので、伊自良にきてびっくりしたんですけれど、やっぱり多ければ多いほど良いところもあるのでそんなことを思いました。

司会 ありがとうございます。次に田中さんお願いします。
田中 山県市の森林面積は約八四％、豊かな自然を守ると言うのは簡単ですけど、外から見るといい景色、いい

環境だと思えても、実際に中に入った時の状態をみなさんご存じないように感じます。このままでは、もし山に災害があった場合、直接住民の生活に影響を与えるじゃないかと思えます。いつも山を見ながら思うんですけれども、少しでも山林が健全な形になるよう、都市部の発展ばかりでなく、山間部の発展も指導いただけたらと思います。YACCという青年団体のことで思うんですけども、山県市の青年団体の数が本

当に少ないんじゃないかと思うんです。若者が実際に少ないというのもあるかと思うんですけど、美山YACCとしては、昭和六十二年から活動してきましたが、市になるということで今後どうするかというこ

とを話し合いました。七月に実施しているいかだ川下りというものの、美山町の小・中学生、高富町のボーイスカウトの人たちが毎年参加していただいていたんですけれども、山県市となっても何とか続けていけるようにと検討しています。いかだ川下りをなぜ開催するかというと、今はあまり聞かれなくなったんですけど、「まちおこし」の一つとして始めたのと、子供たちに自然を体験する機会を与え、自然を守っていききたいという気持ちを少しでも持つてもらいたいと思って開催しているんです。美山町の時には行政の方にいろいろご協力いただいたんですけど、山県市となっても、そういう青年団やボランティアグループにいろいろとご協力をいただきたいと思います。

司会 ありがとうございます。それではこれまでの話をふまえて、山田県議と前高富町長、美山町長に一言ずつコメントをいただきたいと思っています。山田県議会議員よろしく願います。

山田

今、元気が無いというお話がございましたが、住民があちこちに活発に動くためには、私はまだ道路の整備が足りない。一番大事なのは東海環状の高富インターを早くつくる。それでさっきおっしゃった住民を巻き込んでということで、市になりましたので、東海環状をとにかく早くこちらに持つてくるということ、そうすればこの辺り、もっと元氣が出ると思います。住みやすく、交通の便がよい、企業もくるといふそういう一番の基盤ですから。今度山県市として大きくなったわけですから、市を中心に住民一体となつてこの運動を進めていただきたい。そのように私は思います。

司会

ありがとうございます。それでは平野前高富町長よろしく願います。

平野

いま、山田先生からお話があったように、道路整備というのは大々的に行わなければいけない。二五六号と東海環状がインターで結ばれることにより、非常に時間が短縮されます。それ

と新市のまちづくりの計画、これを進める段階でみなさん方のご意見を聞いてみますと、やっぱりそれぞれの階層の意見をよく聞くというのが大切だと痛切に思うのです。老人会とか、あるいは子供会とか出席しましていろいろ話を聞きますと、なるほどと思う話があります。先日は富岡小学校の子供さんからまちづくりに関して、ひとり一人の提案というものをもらいました。読ませてもらいましたが、子供さんの意見といつても、しっかりとしてみえます。老人会などでもいろいろなサービスの面につきまして要望があります。地域の各階層の意見を聞きながら、いろんな施策をする、いろんなものをつくるという、そんな意見を十分聞いたうえで、進んでいくというのが大事だというふうに思っております。

司会

ありがとうございます。では次に矢口前美山町長お願いいたします。

矢口

まず、市民と職員が目線の一つにして絶えずいろん



左から矢口前美山町長、平野前高富町長、山田県議会議員

なことで市役所を利用していただく、これが第一だろうと思います。また、山県市というのは、公共交通機関といっても本線しか走っていませんので、どうしても道路が必要です。しかし、道路をつくるに関して、これからは住民が参加してつくる。旧美山町でもすで

かのために山の本が倒れ込んで、そういうところは山が荒廃してしまつて、強い雨が降ると土がどんどん流れ出て、きれいな川を埋めていってしまう。こういう現象がありますので、いろいろな協力をいただいて、森林組合主体になって、山に従事する人間に号令をか

に二カ所住民参加で、住民がここにこういう道路をつくって欲しい、そして地権者までの理解を得てくるという、こうしたことを行っています。今ちょうど美山町森林組合の田中さんから意見発表がありました。が、旧美山町一五八平方キロの面積、その中に山林が九二%、台風とか豪雪と

けて山の手入れを進めておられます。とにかく下流の人々も安心して住んでもらえるまちづくり、そして地元の人には山の手入れをさせてもらって、そういうことで森林一帯を公園化して、山へもお客さんの誘致ができるようなことにしたい。こういう事業を進めて参りました。そして教育ですが、適正規模というものが、適正規模というものが、平成十三年に小学校三校を、今年四月には中学校二校を、一校に、適正規模で子供を育てていこう、そして声かけ運動とか、地域がどんどん参加して、大人も一生懸命になって粘り強く、みんなを巻き込むまで運動を続けていかなければいけない。みなさん言われたようなことを含めながら、みんな参加するまちづくりをしていって欲しい。また、行政の側ではコスト的なこと、経営感覚ですが、どんどん若い人の意見を採り入れたまちづくりをして欲しい。我々も真剣に、一市民として協力していこうと覚悟し

ておりますので、これからみなさんとぜひとも手を組み、一人でも仲間を増やして、そして山県市づくりに尽くして欲しいとそんなふうに思います。

司会

ありがとうございます。それでは本日大変お忙しい中ご出席いただいた梶原知事にまちづくりについてのご指導を賜りたいと思います。お願いします。

知事

短い時間ですが貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。これ(新市まちづくり計画)はですね、今までの努力の結果として立派なものだと思いますが、これを基にして次どうするかということを考えなければいけない。山県市の特徴というのはこれから出していかねばならない。それが課題だと思います。矢口さんがおっしゃった経営ということ、非常に重要ですが、山県市という都市をどのように経営していくかという、中期的、長期的な展望、戦略を持たないと、山県市はつぶれていくと思います。まず山県

市は山県市なりの独自性を発揮すること、他のまちのまねをしていたんではない。独自性を出すためには、そこにいま何があるか、あるいは将来どうなるかを大前提にしなければいけない。歴史とか伝統とか文化、産業いろいろあります。大桑城なんかいい例です。土岐源氏の拠点だったんですから、そういうようなことが、歴史を掘り起こすとかくさんあります。ほとんどがいま、表に出ていないので、その掘り起こしをみなさん一度やってください。それから交通条件ですね、東海環状の話が出ましたけれども、これができると三河湾、伊勢湾、ほぼ一時間圏になります。そのほか東西南北にいろいろと道路整備が進みます、袋小路だった山県市が、近い将来に開かれた山県市になるという事です。そういうことも一度点検して、そのことを念頭に、どうしたらよいかということ判断してもらいたい。また、どういう性格のまちを指向するかと



梶原 拓 岐阜県知事

いうことですが、住宅都市も結構です、結構ですが、住宅都市というものの限界を考えておかなければならない。岐阜県内の名古屋市内に通勤する住宅団地、かつては若い世帯が入って、子供さんを育てたというまちがですね、いま、高齢者ばかりになりつつある。必要であるけれども限界がある。産業都市としてはどうか、農業、ものづくり、あるいは観光も含めて産業都市、これも山県市独自の地の利

を生かして、どういう産業を興すかということを考えなければいけない、これをやらない限りは、いまの岐阜市と同じになります。岐阜市は産業政策を長い間怠りました。住宅都市でいい、生活都市でいい、とこういうことを考えて行政をやつてこられて、今日、岐阜市の衰退につながっているということをよく他山の石として、参考にしていただきたい。産業政策、農業をふくめて非常に重要なこ

とです。これから少子化が進んで若者の取り合いになります。若者が定着出来るような魅力ある産業を興さないとこの山県市もつぶれていきま

いうものを興していかなければいけない。南飛騨で健康産業を進めていますけれども、その料亭の女将さんに、これからの料理屋は屋型を考えなければいけない、夕食よりも昼食だとお話ししました。なぜかというとこれからは女性が中心、男は金持っていないからね。(笑) お母ちゃんに巻き上げられちゃってる。じやんじやん酒を飲む時代じやなくて、健康・美容中心、これがこれがこれからの料理屋さんの方向ですと申しあげたんです。そこはいろいろ勉強されて、昼、女性の団体客が来られるようになって、このあいだお会いしたら、女将さんがおかげさまで活性化しましたとおっしゃっていました。伊自良のクリーン農業、いっしょうけんめいやられましたから、料亭川島へ行けば、伊自良の健康農業の食べ物食べられるよと、全部伊自良村のものだよというような特色を出さなきゃいかん、相変わらずマグロの刺身だとかではダメです。

やはり土地のものを使うということです。そうすると遠くから食べにこられます、女性は、それも団体でこられるんです、最近はそのう、女性が、健康だ美容だというのに非常に関心を持ってみえる、時代の流れというものをよく考えてやれば、必ず生き残る道があります。それぞれ考えて、しっかり生きていただければ、みなさんのお子さんも跡を継ごうとか、山県市で何かやろうとか、そういったことになります。藤岡さんも田中さんもおっしゃったように、住民参加というか、特に若者がしっかりと生きやいけない。これから生きていく人が自分が主役だと思って、頑張らなければいけない。行政に何か期待しているというような発想ではない。山県の将来、自分たちが主役なんだと、責任感を持って、自分で知恵を出して、汗をかかなければいけない。行政がダメだからダメだ、そんなこと言っとったらいつまでも地域は良くならない。

やつぱり誰かが立ち上がって、そして仲間ができて、地域が変わっていく、それ以外に地域の活性化の方法はないんです。行政は道路をつくったりしますが、道路をつくっただけでは、活性化しませんよ、道路をいかに使うかという、そこに力を結集しないと。インフラは役所がやります。それをどう使うかというのは住民のみなさんだから、住民参加なんだから前なんです。ボランティア活動なんか当たり前の時代なんです。若者が中心でやる。年寄りもうまくこき使わなアカンよ、おだててね(笑)。おだててやれば動くので、そういうことをみなさん中心で考えてください。せっかくこういうすばらしい指導者が、立派な方がおられたから合併できたんですよ。そういう土地柄、人柄を生かしていけば、必ず山県市の将来は明るい。明るいから暗いのはみんなが働くかどうかですよ。

司会 ありがとうございます。
知事 みんな頑張ってください。



校歌を斉唱して披露する生徒のみなさん

新しい伝統がスタート 美山中学校で開校式

美山南・美山北中学校の統合により、新しく美山中学校が誕生し、四月七日に同校で開校式が行

われました。

式にはこの春二、三年生に進級した生徒一六七人と市や学校関係者、来賓らが出席し、はじめに村橋市長職務執行者から後藤勇校長に、緑色を基調とした同校の新しい校旗が授与されました。

後藤校長は「旧南北両校の築いてきたよき伝統を受け継ぎ、オンラインワンに輝く美山の子、美山の学校づくりを目指していきたい。」とあいさつされ、生徒の代表として三年生の長野陽子さんが「旧南北両校の輝かしい伝統をお互いに認め合い、新人生のような新しい気持ちで、力を合わせ伝統を築きあげていきます。」とあいさつされました。続いて生徒ら全員で新しい校歌を披露し、出席者とともに同校の誕生を祝いました。

式典終了後、生徒らは校のほころび始めたグラウンドに出て、校舎正面玄関に設置された、校歌を刻んだ開校記念碑の除幕式を見守りました。



四十一年間と三十七年間の 歴史と伝統にお別れ

美山中学校に統合されることに伴い、三月二十五日、美山北・美山南中学校の開校式がそれぞれ開催され、在校生や卒業生らが、両校の歴史と伝統に別れを告げました。

美山北中学校は四十一年間に三、七五六名、美山南中学校は三十七年間に三、六三二名の卒業生を送りだし、地域教育の拠点として重要な役割を果たしてきました。式では、町、学校関係者らのあい

いい汗流しました 第二十回

高富町ジョギング大会

三月二十一日、四国山香りの森公園周辺で第二十回高富町ジョギング大会を開催しました。

この大会は、七kmのロードレー



よし、スタートダッシュで1番を目指すぞ

さつの後、生徒代表から校旗が返納され、開校記念碑の除幕が行われました。



矢口町長に校旗を返納する生徒代表(美山北中)

スと一、五kmのジョギング、ウォークラリーにわかれスタート。競技者から運動不足気味の中高年など幅広い年齢層の約三百五十人が参加されました。

また、仮装ジョギングコンテストも開催し、宮本武蔵やポパイに変装したランナーに沿道からは多くの拍手が贈られていました。

ロードレースの優勝者は次の方です。

男子一位

松田桂助(池田中)
二十二分三十一秒

女子一位

山田友美(高富中)
二十八分二十五秒

地元企業新就職者

歓迎の集い

岐阜グランドホテルで四月二日に、山県市と美山町商工会が美山地域に今年新たに就職した方を対象に歓迎会を開きました。

この歓迎会には美山地域の企業八社から三十八人が出席。

来賓の山田忠雄県議会議員は「自分に与えられた仕事をいっしょうけんめいがんばってほしい」と激励され、新入社員は社会人の先輩の助言を真剣に聞いていました。

この後、記念講演として名古屋大須演芸場の席亭足立秀夫さんが



満開の桜の下で
四月五日から十三日まで、伊自良湖畔一帯で伊自良湖桜祭りが行われ、夜間はライトアップされた三百本あまり満開の桜を見ようと、家族連れなどでにぎわいました。
最終日の十三日には、ファイナルステージとして、伊自良日本舞踊クラブの子供たちによる「さくら」の歌に合わせた舞や大阪の演芸団による河内音頭の披露などがあり、来場者からさかんな拍手を浴びていました。



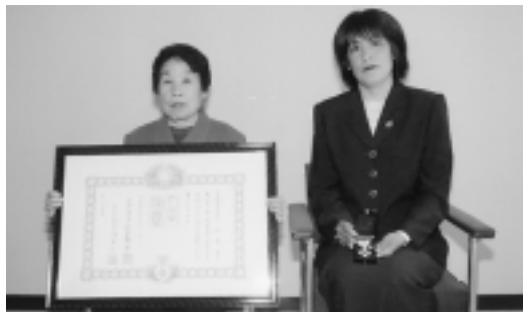
大須演芸場足立秀夫さんの講演は迫力満点

勲六等瑞宝章を受章

柿野の故川崎義憲さん

このほど柿野の故川崎義憲さんが死亡叙勲により勲六等瑞宝章を受章されました。

川崎さんは、昭和五十四年から同五十八年、平成三年から同十一年の三期十二年間、美山町議会議員として地域の発展に尽力され、この間、議会副議長ほか各委員会委員長などの要職も歴任されました。今回の叙勲はこれらの功績が認められたもので、三月二十六日に美山町役場で行われた叙勲の伝達式には、奥さんのすみゑさんと娘の尚美さんが出席されて受領されました。



代理で受領されたすみゑさん(左)と尚美さん(右)



宣誓式で自己紹介をする各小中学校の校長先生と教頭先生

先生もみんな一年生

四月二日に山県市立小中学校への転入教職員宣誓式が伊自良支所で行われました。

この宣誓式には、通常は転入してきた教職員だけが出席するのですが、今回は新市となったことで全教職員が転入の扱いとなるため、代表して各小中学校の校長・教頭先生が出席され、新たな決意を述べられました。

平成十四年度 自治宝くじ助成で 公園整備を実施

公園整備を実施

このほど、東深瀬地内に「こうがいけ公園」を整備しました。この公園には、平成十四年度自治宝くじ助成を受けて、こどもたちが楽しく遊ぶことができるように、船の形をした遊具の設置とドングリの実がなる木をはじめとした、さまざまな樹木の植栽を行いました。公園整備を実施するまでには、地元自治会の方々と意見交換を行い、年々都市化が進んでいく中で、小さなこどもからお年寄りまでさまざまな世代の方が安らぎと憩いの場として利用できるように調整を図りました。皆さん



も、この公園でのんびり過ごしてみたいいかがですか？
公園の清掃美化は地域の方々の協力によって行われています。皆さんも、公園をいつも清潔に保つため、利用マナーを守ることに心がけましょう。

議長に武山和行氏

副議長に村橋安治氏



議長 武山 和行 氏



副議長 村橋 安治 氏

山県市議会臨時会が四月八日から十一日までの会期で開催されました。

臨時会では、議長、副議長の選出や各委員会の委員を選任したほか、山県市が設置されたことに伴い、行政運営に欠くことのできない条例百四十八件や平成十五年度一般会計暫定予算などの専決処分の承認がされました。各委員会構成は次のとおりです。（敬称略）

議会運営委員会

◎は委員長、○は副委員長

◎長屋 孝

○鬼頭 鉄雄 久保田 均

総務委員会

吉田 利雄 高橋 稔

◎横山 善道

○村瀬 明 長屋 孝

久保田 均 清水 勝美

田中 一男 村橋 安治

土田 弘 島戸 一夫

後藤 利瑗 杉山 秋夫

河口 國昭 谷村 松男

産業建設委員会

◎藤根 圓六

○佐野 崇 鬼頭 鉄雄

大西 美好 高井 義隆

吉村 利光 浅野 弘

高橋 稔 吉田 晴司

渡辺 政勝 古田 茂夫

村瀬 隆彦 高井 博

武藤 孝成

文教厚生委員会

◎藤垣 邦成

○木村 正之 酒井 英男

中村 洋一 大西 克巳

村瀬 伊織 吉田 利雄

小森 英明 中田 静枝

上野登志博 村橋 徹夫

影山 春男 日比野英子

川島 清夫

ダイヤル 119

● 救急支援活動 ●

呼吸、心臓の止まった傷病者の場合、救急車（隊員三名）の出動だけでは、救命処置や車内収容までの時間を要し、長時間の現場滞在を余儀なくされることから、出動時に呼吸停止などが疑われる傷病者については、昨年の七月から救急隊に続き消防ポンプ車隊も同時に出動させる救急支援活動を実施しており、今年の三月三十一日までに十八件の出動がありました。この救急支援活動は消防ポンプ自動車サイレンを吹鳴し緊

平成15年度 消防団役員名簿

団 長	武 藤 嘉 邦
副 団 長	北 村 千 行
副 団 長	市 原 修 二
副 団 長	小 島 裕 二
第1分団長	鷺 見 慎 二
第2分団長	森 泰 幸
第3分団長	花 村 裕 次
第4分団長	後 藤 利 裕
第5分団長	大 野 裕 樹
第6分団長	棚 橋 純 次
第7分団長	小 森 康 弘
第8分団長	藤 解 哲 也
第9分団長	石 神 英 樹
ラ ッ パ 長	大 野 雄 一

消防団 入退団式

入退団式

四月六日、山県市消防団入退団式を山県市総合体育館で開催しました。

市消防団員約四百五十人が出席した入退団式は、合併後はじめて行われたため団旗、分団旗

急走行するため、住民の皆さんには火災出動と誤解されやすく、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、傷病者を救うためのやむを得ない出動とご理解いただき、ご協力のほどをよろしく願っています。

■問い合わせ先
山県市消防本部
電 22・01119



がんばり
たい」と
抱負を語
られてい
ました。

の授与も行いました。
今年は前美山町消防団長の古田正明さんをはじめとした地域の防災活動に尽力された百九人が退団されました。長い間お疲れさまでした。

一方、今年入団された七十人を代表し宣誓を行った平井の山本元師さんは、「地域のために

有線テレビモニター募集

企画部情報政策課有線テレビ局

電22・6100

有線テレビでは、ふれあいチャンネル8の番組に対するご意見、ご感想をいただくモニターを募集します。

▼応募資格 高富地域在住の方

▼募集定員 二十名

▼応募方法 電話にて五月三十日金までに有線テレビまでご連絡ください。

緑の募金にご協力を

産業経済部農林水産課

電22・6829

本年度も各自治会を通じて緑の募金運動を展開します。この募金は、国土緑化運動の一環として、緑の必要性、緑化へのご理解を深めていただくとともに、県内の植樹、育樹行事、公共施設の緑化、緑の少年団の育成などに役立てられます。

皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

栄養教室のご案内

保健福祉部健康課

電22・6839

▼開催日 毎月第四金曜日（十回コース 第一回五月三十

日

▼開催時間 午前九時半～午後一時

▼開催場所 保健福祉ふれあいセンター

▼対象者 山県市在住の市民

▼内容 健康づくりに関する講義・調理実習

▼定員 三十名

▼参加費 千円（十回コース分）

▼申し込み 五月二十日水までに保健福祉部健康課までお申し込みください。

公共下水道事業

計画案の縦覧

水道部下水道課

電22・6836

公共下水道の第一期事業計画案を縦覧します。

▼縦覧場所 山県市役所一階下水道課窓口

▼縦覧期間 五月六日火～五月二十日火 午前八時半～午後五時まで

土・日・祝日および時間外に内容を確認されたい方はあらかじめ下水道課までご連絡ください。

なお、この計画内容に対して意見のある方は、縦覧期間内であれば市長に対して意見を提出することができます。

お詫びと訂正

「山県市民便利帳」の記載事項に誤りがありました。お詫びして次のとおり訂正いたします。

●21ページ 項目：各種証明（市税関係）

種 類	必要なもの	必要なもの
住宅用家屋証明	●住民票 ●登記済証 ●売買契約書または売渡証書の写し	●住民票 ●登記済証 ●建築確認申請書等
軽自動車税納税証明書（車検用）	●印鑑 ●同居の家族以外の代理人の場合は委任状	●車両ナンバー納税義務者のわかるもの

●34ページ 項目：●児童厚生施設

施設名	開館時間	電話番号	開館時間	電話番号
高富児童館	8時30分～ 17時15分	22-4750	9時～17時	22-4750
子どもげんきはうす	8時30分～ 17時15分	22-2323	9時～17時	23-2323

●49ページ 項目：●予防接種一覧 乳幼児個別接種（指定医療機関）

種 別	接種年齢	接種年齢
麻疹（はしか）	生後3か月～7歳半未満の児	生後1歳～7歳半未満の児
風疹	生後3か月～7歳半未満の児	生後1歳～7歳半未満の児

●51ページ 項目：●私立幼稚園就園奨励補助金

誤	詳しくは、 <u>学校教育課</u> までお問い合わせください。	正	詳しくは、 <u>教育総務課</u> までお問い合わせください。
---	----------------------------------	---	----------------------------------

平成十五年度前期(四月～九月)

幼児クラブ募集

高富児童館 電22・4750

子どもげんきはうす

電23・2323

▼対象者 ○、一、二歳児とその保護者(市内在住および在勤の方)

◆高富児童館
ピヨピヨクラブ

対象：○、一歳児 開催日：毎月第一・第三火曜日

ケロケロクラブ

対象：二歳児 開催日：毎月第一・第三水曜日

◆子どもげんきはうす

いちごクラブ

対象：○、一歳児 開催日：毎月第二・第四火曜日

めろんクラブ

対象：二歳児 開催日：毎月第二・第四水曜日

※参加希望者は、各施設に用意してあります申込用紙にて、お申し込みください。

児童館五月の行事

高富児童館 電22・4750

十日土 一時半～ 切り絵

十一日土 一時半～ 母の日のプレゼント作り 定員十五名

十七日土 十時半～ かしわ餅

作り 定員十五名(持ち物)お茶・エプロン・ハンカチ

二十四日土 一時半～ 切り絵

三十一日土 一時～ パン教室 定員十五名(持ち物)お茶・エプロン・ハンカチ

◆五月一日木より受付を開始しますので、参加希望者は申し込みをしてください。

なお、定員になり次第締めきらせていただきます。

げんきはうす五月の行事

子どもげんきはうす

電23・2323

十日土 一時半～ 母の日のプレゼント作り 定員十五名

十七日土 一時半～ 生け花 定員十五名(持ち物)花

二十四日土 一時半～ 一輪車に乗ろう 定員十五名

三十一日土 一時半～ バナナクレープ作り 定員十五名(持ち物)お茶・エプロン・ハンカチ

◆五月一日木より受付を開始しますので、参加希望者は申し込みをしてください。

なお、定員になり次第締めきらせていただきます。

農業取締法が改正されました

産業経済部農林水産課

電22・6829

昨年無登録農薬の使用によって、多数の農作物が処分されたことにより、農業取締法が改正され本年三月十日に施行されました。改正内容は次のとおりです。

① 無登録農薬の製造および輸入の禁止

② 輸入代行業者による広告の制限(輸入代行業者がインターネット等を通じて無登録農薬の個人輸入を勧誘しているの、これらの者の広告を制限します。)

③ 無登録農薬の使用規制の創設(一部農家が無登録農薬と知りながらこれを使用していたので、無登録農薬を農作物等の防除に用いることを法的に禁止します。)

④ 農薬の使用基準の設定(農薬の使用に伴って、作物への残留等の問題が発生することを防止するため、使用者が遵守すべき基準を定めることとし、この基準に違反して農薬を使用してはならない。)

⑤ 法律違反の罰則の強化(販売者は三年以下の懲役、百万円(法人は一億円)以下の罰金。使用者は三年以下の懲役、百万円以下の罰金。)

「無登録農薬は、売らない、買わない、使わない」

※使用農薬のお問い合わせは、農協各支店まで。

交通安全ニュース

企画部総合企画課 電22・6824

春の全国交通安全運動の実施

実施期間

五月十一日～二十日火

スローガン

地域ぐるみで守ろうこととお年寄り

運動の重点

○子供と高齢者の歩行中、自転車乗車中の交通事故防止

○シートベルトとチャイルドシートを着用の徹底

○飲酒運転の追放

行楽シーズンの到来です。休暇を利用して遠出を計画しているご家族も多いと思います。

楽しい休暇を交通事故等で台無しにしてしまわないよう、ゆとりを持った計画を立て、有意義に過ごしましょう。

また、新学期が始まって一か月が経過し、子供たちの緊張も緩んできましたよね。この時期に交通事故の多発が予想されますので再度気を引き締め、交通

事故防止の徹底を図りましょう。

五月はシートベルト・チャイルドシート着用強調月間

運転者と前席同乗者はシートベルトを正しく着用し、後席同乗者にもシートベルトの着用を促しましょう。

乳幼児を同乗させるときは、子供の体格に合ったチャイルドシートを正しく取り付け使用しましょう。

『スタートはベルトのカチャリを聞いてから』



ご結婚おめでとう

高 富 (青木 俊憲
齋藤 美雪
林 正則
飯田三加子
武藤 正頼
大原 悠子
坂本 文親
三原 愛
長屋 秀樹
伊藤なのり
佐 賀 (野村 達也
田原 寿江
一ノ宮榮二郎
小森 陽子
東深瀬 (村瀬 一矢
木野村 恵
西深瀬 (浦 雄一郎
岡山 美穂
梅 原 (池淵 三樹
藤代ゆかり
高屋 勝
勝野 順子
伊佐美 (齊藤 正剛
野口 玲子
大 桑 (間野 徹
尾関 有香
大野 貴広
土田 恵子
長 滝 (早瀬 智洋
政野 昭恵
大 門 (川島 博光
久枝くみ子
葛 原 (長野 賢
赤塚 利珠
山田 達矢
長野 美和
柿 野 (類沢 勇次
藤田 秀美
富 永 (堀尾 充雄
洞山千代美
加藤 敬
西森 真弓
岩 佐 (大澤 幹男
坂井 久美
藤吉 淳志
荒深千代子

高 富 見崎 桜
佐 賀 三島 賢也
長尾 一聖
東深瀬 大脇 舞
西深瀬 岡山 夕美
高 木 千田 朋美
伊佐美 名知 康平
上 願 玉井 大翔
洞 田 中村 一翔
小 倉 横山 来思
大 谷 森 日比野 乃助
相 戸 瀬上 朔矢
岩 佐 江川 琉生
乾 晃輔
吉田 舜矢

お く や み

高 富 武藤きくえ 82歳
中村 真一 73歳
山本 茂 53歳
後藤喜久夫 53歳
佐 賀 野々村さわ子 79歳
東深瀬 矢川 元一 76歳
西深瀬 中島 美辻 71歳
大山 亮 84歳
原田 一 77歳
梅 原 黒田 藤市 79歳
伊佐美 大西 幸子 48歳
赤 尾 山田まちゑ 91歳
伊藤福三郎 72歳
横山 宇助 93歳
大 桑 加藤世奇子 66歳
武藤おゆう 88歳
西村まなよ 87歳
横山 ぬみ 94歳
横山みつゑ 100歳
梅田 市郎 83歳
棚橋 益夫 75歳
山口 信夫 78歳
井上きみ枝 86歳
大西 一夫 81歳
長野 しげ 94歳
白井 祥治 55歳
桑野 嘉時 78歳
早川 操 83歳
堀田 金松 104歳
山田 智元 89歳
小原しやう 90歳
澤田 昭三 74歳
長野 善夫 53歳
澤田 千明 69歳
長屋 昌隆 33歳
山口 力士 68歳

赤ちゃん誕生

高 富 桂川 心
豊吉 由衣
長屋 碧人
土田 俊稀

第十二回「花の都ぎふ」
花かざりコンクール作品募集
企画部総合企画課
電 22・6824

岐阜県では、花づくりと花かざりが一体となった『花の都ぎふ』運動を展開し【日本一住みよいふるさと岐阜県】【世界のふれあい広場・ぎふ】づくりを推進しています。
今年で十二回目となるこのコンクールにあなたも応募しませんか。
主催 岐阜県
財花の都ぎふ花と緑の推進センター
▼応募期間 七月十八日金まで

▼応募対象 庭、石垣、壁面、花壇、農地等が花で飾られ快適な環境づくりと景観の美化に取り組みされている建物、施設、地域等(個人・団体・店舗・企業の部門に分かれています。)
※応募用紙は、総合企画課にあります。皆さまのご応募をお待ちしています。
たかのみスポーツクラブ(TSC)からのお知らせ
二〇〇三年度 活動開始!
『スポーツ広場・サークル』は四月一日火から、『小・中学生スクール』は四月十二日土から活動が始まりました。

現在、クラブ会員として八〇〇名を超える方がいろいろなスポーツを楽しんでいます。
会員は随時受け付けておりますので、「入会申込書」に必要事項を記入し、「年会費・保険料」を添えてクラブ事務局にお申込ください。(開設時間内)まだ継続手続きのお済みでない方は、お早めにお申し込みください。
たかのみスポーツクラブ事務局(山県市総合体育館内)
電 22・6622
ファックス 23・0022
【開設日】月・土曜日
午前九時～午後三時

いっしょに楽しみましょう
あなたもYACCに
入りませんか?
自分たちの手でまちを良くしたい、市民のために何か協力しよう。郷土の自然環境などを活かし、子供たちや青年の自発的な活動を実践できる団体を目指したいと思います。また、参加する青少年が一丸になってまちづくり・人づくりを行える活動を行います。
YACC代表 田中政成
● 今年の活動予定
● 美しいかだ川下り(七月二十七日予定)

● 研修 山形市(秋ごろを予定)
● スタッフによる企画行事など
スタッフ募集
外、年齢は問いません。市内
問い合わせ先
代表 田中 電 55・2581
副代表 深尾 電 52・1341
副代表 日比野 電 55・2844
URL yacc@mx1.kroad.ne.jp
HP yacc.kroad.ne.jp



伊自良図書館、伊自良老人福祉センターを望む

大門・洞田は 公共施設がいっぱい

今回から市内各地域を紹介します。第一回は伊自良南小学校区です。
伊自良南小学校区は、洞田・小倉・大森・藤倉・大門の五つの自治会で構成されています。

うちの地域に きてみんせえ

大門・洞田には公共施設がいっぱいあります。伊自良支所、伊自良中央公民館、伊自良図書館、伊自良老人福祉センターなどなど。伊自良図書館は約四万五千冊の本を所蔵しており、本以外にもCD・ビデオテープ・カセットテープの貸し出しなども行っています。平成十四年度は本や、ビデオなど約十四万三千点を貸し出しました。

また、図書館に隣接して伊自良老人福祉センターがあります。ここでは休館日以外の午後一時から四時まで、おおむね六十歳以上の方を対象に無料入浴サービスを行っています。

きれいな水にしか 住めない魚ハリヨ



ハリヨ

ハリヨは、岐阜県と滋賀県の一部でしか生息しておらず、冷たいきれいな水にしか住めない魚です。大森には「ハリヨ公園」があり、そ

の貴重な魚が生息しています。長良川水系で唯一の生息地である伊自良地域。このハリヨを保護しようと、地域では公園の池の清掃などを定期的に行い大事に見守っています。



ハリヨ公園

編集後記

『広報やまがた創刊号』はいかがでしたか？今回、いろいろと大胆な編集を試みてみました。大胆すぎて読みづらかったり、おかしい部分が多かったかも。▼広報やまがたは、いつも変わり続けることを目指していきたいと考えています。「ここはおかしい。」とか「ここはこんなふうにした方がいい。」というようなみなさんご意見を聞いて、どんどんとより良い広報にしていきたいと思っています。よろしくお願いします。(ON)

山県市誕生から約一か月。住所を間違わず書くことはできていますか？私は何度か「山県郡」と書いてしまっています。▼四月一日。新しい職場の雰囲気はどうなんだろとか、期待と不安に胸を膨らませ登壇。そういえば、六年前も同じ気持ちで役場に入ったことを思い出して社会人となった「原点」に戻れた気がしました。

▼身近な情報をダウンロードお寄せください。皆さんに楽しんでいただける「広報やまがた」を作っていきますのでよろしくお願いします。(T)

広報やまがた

2003 創刊号

発行 岐阜県山県市高木1000-1

編集 企画部総合企画課

電話 0581・22・6824

ファックス 0581・22・6851

平成15年5月1日発行

URL

<http://www.city.yamagata.gifu.jp/>

E-mail

info@city.yamagata.gifu.jp